

検査内容変更のご案内

謹啓 新緑の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記の検査項目につきまして使用試薬を変更することになりました。これに伴い、測定方法および判定基準が変わりますのでご案内申し上げます。

ご利用いただいております先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも当センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

【 内容変更項目 】

※ 実施日：平成26年6月2日（月）ご依頼分より

※ 変更対象項目：FT₃・FT₄・TSH・T₃・T₄

項目コード	検査項目	変更内容	新法	現法	検査案内掲載
0198	遊離トリヨードサイロニン (FT ₃)	測定方法	CLIA法	ECLIA法	34 ^{ページ}
		判定基準	1.71~3.71	2.6~5.1	
		単位	pg/mL	pg/mL	
0199	遊離サイロキシン (FT ₄)	測定方法	CLIA法	ECLIA法	34 ^{ページ}
		判定基準	0.70~1.48	1.01~1.79	
		単位	ng/dL	ng/dL	
0208	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	測定方法	CLIA法	ECLIA法	32 ^{ページ}
		判定基準	0.35~4.94	0.270~4.200	
		単位	ng/dL	μIU/mL	
0209	トリヨードサイロニン (T ₃)	測定方法	CLIA法	ECLIA法	34 ^{ページ}
		判定基準	0.58~1.59	0.85~2.00	
		単位	ng/mL	ng/mL	
0202	サイロキシン (T ₄)	測定方法	CLIA法	ECLIA法	34 ^{ページ}
		判定基準	4.87~11.72	5.1~13.5	
		単位	μg/dL	μg/dL	

※変更理由および相関については、別紙添付資料をご参照ください。

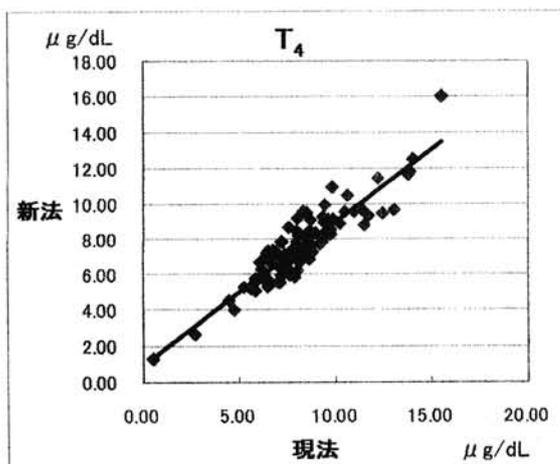
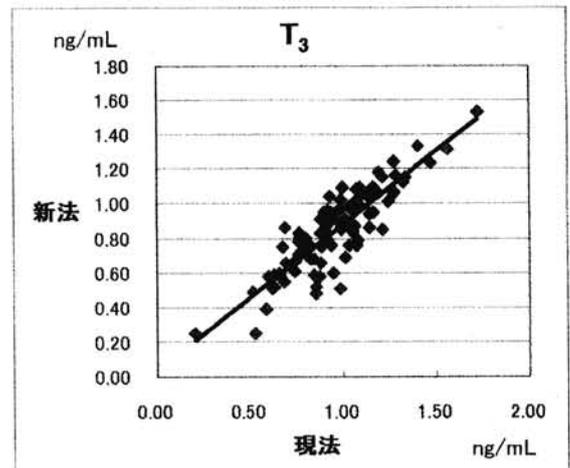
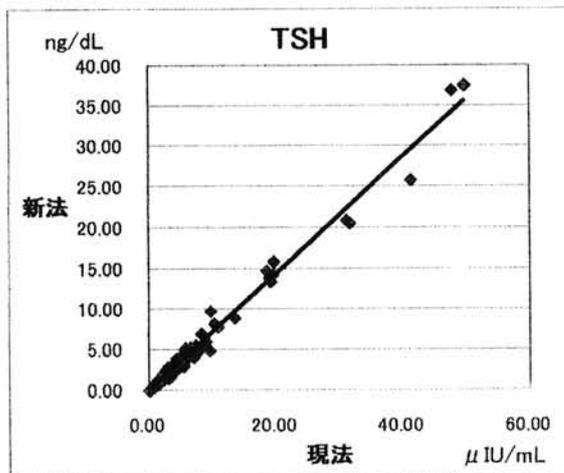
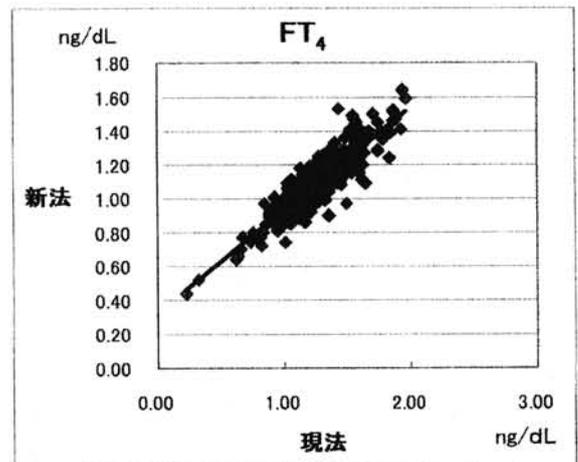
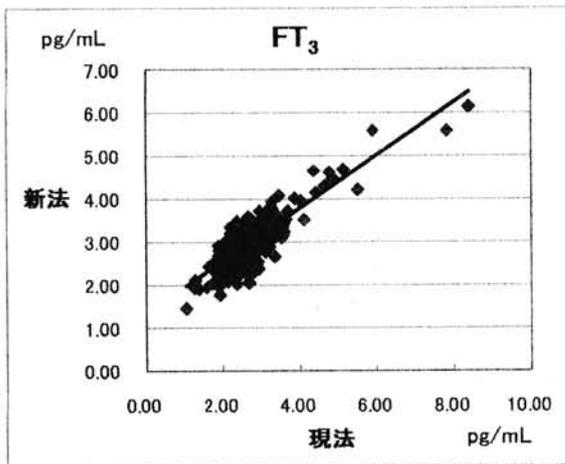
平成26年 5月

【変更理由】

現在使用の試薬は、ボルタレンやビタミンB群の主成分であるビオチンの影響を受ける場合があります。ビオチンは、栄養ドリンクや様々な食品に多く含まれているため患者様の摂取状況の把握が困難ですが、新試薬ではこの点を解消することができます。

また、TSHは、高感度試薬に変更することで、精度の高い値を得ることができます。FT₃、FT₄においては、2ステップの洗浄をおこなうことで、自己抗体等の影響を受けにくくなり、より正確な値を得ることができます。

【相関】



FT ₃	$y = 0.6126x + 1.3437$
	$r = 0.82$
FT ₄	$y = 0.5695x + 0.3754$
	$r = 0.89$
TSH	$y = 0.7154x + 0.0238$
	$r = 0.99$
T ₃	$y = 0.8468x + 0.0358$
	$r = 0.87$
T ₄	$y = 0.8071x + 0.9674$
	$r = 0.91$

(社内検討データ)